がん化学療法レジメン

第1版	改訂日	

登録日	H33.8.12	実施区分	□ 入院のみ ■ 入院及び外来	初回入院	■ 必要
レジメン番号	骨髄腫(MM)−020	診療科名	血液内科		
レジメン名	【皮下注】DMPB療法				
レジメン補足	ダラツムマブ・ボルヒアルロニダーゼアルファ＋ボルテゾミブ＋メルファラン＋プレドニゾロン				
がん腫など	多発性骨髄腫				

【1コース目】

薬剤名	漏出	投与量	1(週)							2							3							4						
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
ダラツムマブ(ダラキューロ)		1800mg	●							●							●							●						
ボルテゾミブ(ベルケイド)	炎症	1.3mg/m^2	●			●				●			●											●			●			
メルファラン(アルケラン)		9mg/m^2(内服)	●	●	●	●																								
プレドニゾロン(プレドニン)		60mg/m^2(内服)		●	●	●																								

薬剤名	漏出	投与量	5							6							7							8						
			29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56
ダラツムマブ(ダラキューロ)		1800mg	●							●																				
ボルテゾミブ(ベルケイド)	炎症	1.3mg/m^2	●			●																								
メルファラン(アルケラン)		9mg/m^2(内服)																												
プレドニゾロン(プレドニン)		60mg/m^2																												

1コース期間	42 日	目標コース数	□有 (コース)	■無 (PDまで)
注意事項など	infusion reaction予防のため、ダラツムマブ投与1～3時間前に副腎皮質ホルモンとアセトアミノフェン(650-1,000mg)、抗ヒスタミン剤を投与すること（モンテルカスト10mg経口投与を考慮する） （セット処方あり；入院注射オーダ→「セット」→「全科セット」→「血液内科用」→「ダラザレックス前投薬」） 《プレドニゾロンの投与について》 day2-4に内服もしくは静脈内投与を行う（day1はIR予防の前投薬としてデキサメタゾン20mgを投与） ★ダラツムマブ初回投与時は、輸血部（7204）に連絡すること			

Day 1, 8, 22, 29

《皮下注》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	生食	1.2mL	皮下注
	ボルテゾミブ	1.3mg/m^2	
②	ダラツムマブ	1800mg	皮下注

※ダラキューロは臍から左または右に約7.5cmの腹部皮下に、約3～5分かけて投与
※同一部位への反復注射は行わないこと

Day 4, 11, 25, 32

《皮下注》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	生食	1.2mL	皮下注
	ボルテゾミブ	1.3mg/m^2	

Day 15, 36

《皮下注》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	ダラツムマブ	1800mg	皮下注

※ダラキューロは臍から左または右に約7.5cmの腹部皮下に、約3～5分かけて投与
※同一部位への反復注射は行わないこと

【2～9コース目】

薬剤名	漏出	投与量	1(週)							2							3							4						
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
ダラツムマブ(ダラキューロ)		1800mg	●																					●						
ボルテゾミブ(ベルケイド)	炎症	1.3mg/m^2	●							●														●						
メルファラン(アルケラン)		9mg/m^2(内服)	●	●	●	●																								
プレドニゾロン(プレドニン)		60mg/m^2(内服)		●	●	●																								

薬剤名	漏出	投与量	5							6							7							8						
			29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56
ダラツムマブ(ダラキューロ)		1800mg																												
ボルテゾミブ(ベルケイド)	炎症	1.3mg/m^2	●																											
メルファラン(アルケラン)		9mg/m^2(内服)																												
プレドニゾロン(プレドニン)		60mg/m^2(内服)																												

1コース期間	42 日	目標コース数	■有 （ 8 コース ） □無 （PDまで）
注意事項など	infusion reaction予防のため、ダラツムマブ投与1～3時間前に副腎皮質ホルモンとアセトアミノフェン(650-1,000mg)、抗ヒスタミン剤を投与すること（モンテルカスト10mg経口投与も考慮する） （セット処方あり；入院注射オーダ→「セット」→「全科セット」→「血液内科用」→「ダラザレックス前投薬」） 10コース目以降は(MM-23)【皮下注】ダラツムマブ維持療法のレジメンに移行 《プレドニゾロンの投与について》 day2-4に内服もしくは静脈内投与を行う（day1はIR予防の前投薬としてデキサメタゾン20mgを投与）		

Day 1, 22

《皮下注》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	生食	1.2mL	皮下注
	ボルテゾミブ	1.3mg/m^2	
②	ダラツムマブ	1800mg	皮下注

※ダラキューロは臍から左または右に約7.5cmの腹部皮下に、約3～5分かけて投与
※同一部位への反復注射は行わないこと

Day 8, 29

《皮下注》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	生食	1.2mL	皮下注
	ボルテゾミブ	1.3mg/m^2	